

# 事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

(青森県 平成23年度)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分①(対象作物・畜種等名)①	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	作物等区分②(対象作物・畜種等名)②	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容(工種、構造、規格、能力等)	事業費(円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
							計画時(平成20年)	1年後(平成21年)	2年後(平成22年)	3年後(平成23年)	目標値(平成23年)	達成率					計画時(平成20年)	1年後(平成21年)	2年後(平成22年)	3年後(平成23年)	目標値(平成23年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他					
十和田市	十和田おいらせ農協	産地競争力の強化	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	輸入急増野菜(にんにく)	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	▼【野菜】間の削減 ▼単位面積当たり労働時間を5%以上削減	232.1hr/10a	—	184.8hr/10a	188.3hr/10a	184.6hr/10a	92.2%	労働時間が43.8hr削減され、目標を概ね達成した。	輸入急増野菜(にんにく)	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	▼【野菜】(付加価値の向上) ▼全出荷量に占める「ブランド」品の割合を5ドット以上増加	34%	—	64.9%	80.1%	全出荷量のうち「ブランド」品割合を50%	288.1%	「ブランド」品が46.1%増加し、目標を達成した。	共同利用機械整備 にんにく植付機11台 にんにく収穫機1台	27,804,000	13,240,000			14,564,000	H22.3.23	機械に合わせた畦立てにより作業効率が向上したが、土壌病害対策のため機械洗浄作業に時間を要した。TOM-VEGE「ブランド」商品の販路拡大により販売価格が上昇したため、共選率が向上した。	土壌病害対策の徹底のため機械洗浄に時間がとられ、目標をやや下回った。今後は、高圧洗浄機等の整備により、洗浄時間の短縮を図るよう指導等を行っていく。		
三沢市	おいらせ農協三沢地区にんにく植付機利用組合	産地競争力の強化	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	輸入急増野菜(にんにく)	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	▼【野菜】間の削減 ▼単位面積当たり労働時間を5%以上削減	207.3hr/10a	207.3hr/10a	190.0hr/10a	188.6hr/10a	188.8hr/10a	101.1%	労働時間が18.7hr削減され、目標を達成した。											6,772,500	3,225,000			3,547,500	H22.3.23	にんにく植付機の適正な使用により、作業の効率化が図られた。	労働時間が削減され、目標を達成した。種苗の植付深さが均一になり、品質の向上につながった。			
三沢市	東部三沢地域農機利用組合	産地競争力の強化	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	輸入急増野菜(にんにく)	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	▼【野菜】間の削減 ▼単位面積当たり労働時間を5%以上削減	77.7hr/10a	77.7hr/10a	50.0hr/10a	40.7hr/10a	40.7hr/10a	100.0%	労働時間が37hr削減され、目標を達成した。											6,720,000	3,200,000			3,520,000	H22.3.26	にんにく収穫機の適正な使用により、作業の効率化が図られた。	労働時間が削減され、目標を達成した。秋ににんにくの作付拡大も図られた。			
六戸町	おいらせ農協六戸地区にんにく植付機運営協議会	産地競争力の強化	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	輸入急増野菜(にんにく)	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	▼【野菜】間の削減 ▼単位面積当たり労働時間を5%以上削減	207.3hr/10a	207.3hr/10a	190.0hr/10a	190.0hr/10a	188.8hr/10a	93.5%	労働時間が17.3hr削減され、目標を概ね達成した。											9,030,000	4,300,000			4,730,000	H22.3.23	植付け時の重労働が軽減された。労働時間は目標に届かなかったが17.3hr短縮され、作付面積の拡大につながった。	ほ場状態の悪い所で作業時間が掛かり、目標をやや下回った。今後は、排水対策等ほ場環境の改善に努め、作業時間の短縮を図るよう指導等を行っていく。			
東北町	とうほく天間農協(現 ゆうき青森農協)	産地競争力の強化	需要に応じた生産量の確保	野菜(ながいも、アピオス)	需要に応じた生産量の確保	▼【地産地消及び産直】 ▼県内に向けた出荷量の割合	0%	0%	38.6%	56.2%	25%	224.8%	県内向けの出荷量が56.2%となり、目標を達成した。	野菜(ながいも、アピオス)	需要に応じた生産量の確保	▼【地産地消及び産直】 ▼対象作物の直売施設等における全販売額に対する受益農業者の地場産物の販売額の割合を増加	0%	0%	100%	100%	100%	100.0%	直売施設等における地場産物の販売額割合が100%となり、目標を達成した。	農産物加工処理施設(建屋、加工機械設備一式)	120,802,500	57,525,000			63,277,500	H22.3.30	県内向け出荷割合と地場産販売比率は目標達成した。加工数量及び取戻率も目標を上回り、事業効果が顕現した。	県内向けの出荷が増加したため、目標を達成した。ながいもとアピオスの加工処理量は、H23年度実績607t(目標457.2t)で、達成率133%となった。		

# 事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

(青森県 平成23年度)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分① (対象作物・畜種等名) ①	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	作物等区分② (対象作物・畜種等名) ②	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
							計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率					計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
							弘前市	相馬村農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	果樹(りんご)	需要に応じた生産量の確保					▼【果樹】 ▼(農畜産物販路拡大) ▼海外を含む販路拡大のうち、海外に向けた販路拡大に係る出荷量又は出荷額を50.6%増加	りんご 輸出量 943t	りんご 輸出量 931t	りんご 輸出量 559t	りんご 輸出量 500t	りんご 輸出量 1,420t				-92.9%	輸出量は、47.0%の減少となり目標を達成できなかった。	果樹(りんご)	需要に応じた生産量の確保				

# 事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

(青森県 平成23年度)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分① (対象作物・畜種等名) ①	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	作物等区分② (対象作物・畜種等名) ②	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
							計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率					計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他				
黒石市	津軽みらい農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	果樹(りんご)	需要に応じた生産量の確保	▼【果樹】 ▼(農畜産物販路拡大) ▼海外を含む販路拡大のうち、海外に向けた販路拡大に係る出荷量又は出荷額を120.4%増加	りんご 輸出量 213.25	りんご 輸出量 576.88	りんご 輸出量 358.24	りんご 輸出量 185.72	りんご 輸出量 470	-10.7%	輸出額は、円高や産地高の要因で12.9%減少し、目標を達成できなかった。	果樹(りんご)	需要に応じた生産量の確保	▼【果樹】 ▼(契約取引の推進に関する目標) ▼全出荷量又は全栽培面積のうち契約取引割合を25.5%増加	出荷量 17,757	出荷量 18,975	出荷量 20,059	出荷量 15,071	出荷量 19,400	77.6%	出荷契約割合は、りんご生産量が少なく産地価格が高くなり、契約商談価格に对应できず19.8ポイントの増加にとどまり、目標を達成できなかった。	集出荷貯蔵施設 選果棟1棟 9,000㎡ カラー内部品質センサ一付選果機 2条式3基 製品貯留ライン 48条 7+7リフト 4台	1,467,438,000	698,780,000			768,658,000	H22.3.20	りんご取扱量の全てにおいて、内部品質を保証したものが安定的に供給され、信頼される商品を提供することができた。 成果目標が達成されなかったのは、輸出については、本県のりんご輸出量の大部分を占める台湾において、円高や産地高によって販売単価の折りがつかなかったことが原因である。 契約割合については、平成23年産りんごの生産量の減少で産地高となり契約商談の価格に对应できなかったからである。 輸出については、既存の輸出先である台湾を中心に販路拡大を図っていくが、中国・香港市場の開拓も進め、輸出量の拡大に繋げていく。契約取引割合については、早い時期から契約商談を展開していくとともに、通常の10kg箱詰だけでなく、消費者が購入しやすい5kg・3kg箱詰の販売拡大も進め、契約割合の向上を図っていく。	内部品質センサ導入されたことにより、品質が均一化され、取引先からのクレームが少なくなり、また、フリートレー式の選果ラインの導入により、選果時の傷等の発生もほとんどなくなるなど、事業の導入効果は高いものと評価する。 成果目標が達成されなかったのは、輸出では、本県のりんご輸出量の大部分を占める台湾において、円高や国内でのりんご価格の高騰によって、販売単価の折りがつかなかったことが原因である。 また、契約取引割合については、平成23年産りんごの生産量が大幅に少なくなったことから、産地価格が高騰し、契約商談の価格に对应できなかったからである。 成果目標が達成されていない項目については、事業主体に対して、対応策をきちんと実施していくよう指導等を行うしていく。	

# 事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

(青森県 平成23年度)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分① (対象作物・畜種等名)①	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	作物等区分② (対象作物・畜種等名)②	政策目標②	成果目標の具体的な内容②	事業実施後の状況②						成果目標の具体的な実績②	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
							計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率					計画時 (平成20年)	1年後 (平成21年)	2年後 (平成22年)	3年後 (平成23年)	目標値 (平成23年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他					
むつ市	斗南丘陵農農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	多角的農作業コントロール育成(飼料作物)	生産性向上	【多角的農作業コントロール育成】(飼料作物)  (飼料作物の増産に関する目標) 飼料収穫・収集面積を19ha増加	115.36ha	142.03ha	143.03ha	140.76ha	134.37ha	133.7%	飼料作物の収穫面積が25.4ha増加した	多角的農作業コントロール育成(飼料作物)	生産性向上	【多角的コントロール育成】(飼料作物)  (飼料の増産に関する目標) 飼料自給率の増加割合を14.5%増加	43.30%	65.60%	71.20%	74.00%	49.60%	487.3%	飼料自給率の増加割合が70.9%増加した	どうもろこし播種機(1台) ローレルベラー(2台)	15,750,000	5,000,000			10,750,000	H22.3.30	コントラクター機能の充実を図り、作業効率の向上と新しい作業体系を構築し、受託農家のニーズに応える作業性の高い機械の導入により、目標面積134.4haに対して、平成23年度の作付面積が140.8ha(達成率134%)となった。	目標を達成しており評価する。		

都道府県平均達成率	139.4	%	総合所見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標年度が平成23年度となっている8地区のうち4地区は目標値を達成している。</li> <li>・目標値を達成できなかった4地区についての県の対応等は次のとおり。</li> <li>・十和田市(十和田おいらせ農協)では、高圧洗浄機等の整備により、洗浄時間の短縮を図るよう指導等を行っていくこととする。</li> <li>・六戸市(おいらせ農協)では、排水対策等ほ場環境の改善に努め、作業時間の短縮を図るよう指導等を行っていくこととする。</li> <li>・弘前市(相馬村農協)では、輸出において成果目標が達成されなかったのは、花芽不足等によりりんごの生産量が大幅に減少したことから、集荷されたりんごが国内需要に多く向けられたことが原因であることから、成果目標が達成されていない項目については、事業主体に対して、対応策をきちんと実施していくよう指導等を行うこととする。</li> <li>・黒石市(津軽みらい農協)では、成果目標が達成されなかったのは、輸出では、本県のりんご輸出量の大部分を占める台湾において、円高や国内でのりんご価格の高騰によって、販売単価の折りがつかなかったことが原因であり、また契約取引割合については、平成23年産りんごの生産量が大幅に少なくなったことから、産地価格が高騰し、契約商談の価格に対応できなかったことから、成果目標が達成されていない項目については、事業主体に対して、対応策をきちんと実施していくよう指導等を行うこととする。</li> </ul>
-----------	-------	---	------	---

- (注) 1 別紙様式1号の2の1に準じて作成すること。  
 2 要領第1の1の(2)のアの(ア)から(ウ)の場合にあつては、事業実施後の状況の欄を追加し、記入すること。  
 3 別添として、各事業実施主体が作成した事業実施状況報告書を添付すること。  
 4 「事業実施主体の評価」欄と、「都道府県の評価」欄については、評価の対象となる年度のみ、それぞれの所見を記入すること。  
 5 「総合所見」欄については、評価実施年度の取組について、都道府県全体の総合所見を記入すること。  
 6 「都道府県平均達成率」欄は、都道府県において事業実施地区で掲げている成果目標毎の達成率の平均値とする。